

## < 2007年度研修実績 >

### 1) 【医療 ADR 研修会が開催されました】

2008年3月4、5日虎の門病院本院講堂において、早稲田大学大学院法務研究科和田仁孝教授、大阪大学コミュニケーションデザインセンター中西淑美特任講師より医療メディエーション養成プログラムによる研修会が実施されました。

各共済病院の安全管理担当者や事務部長、事務部課長など24名の受講者が2日にわたり講義とロールプレイによりメディエーションの基礎を学びました。短時間の研修でありましたが、今後の広がりや深まりを感じさせられる講習会でした。ADRは医療紛争への初期対応の一つとしての役割が今後大きくなっていくものと期待されており、当センターでも引き続き取り組む予定です。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



2) 【「第1回人工呼吸器トラブルシューティング講習会 for the residents」が開催されました。】

これまで共済病院看護師対象に開催をしてきました「人工呼吸器トラブルシューティング講習会」を、虎の門病院の研修医を対象にしたコースとして、初めて開催致しました。以前から研修医対象コースの開催希望があり、今回は研修医向けに若干内容を変えての開催としました。

11名の内科・外科の研修医が参加し、7つのアラーム症例をシミュレーションし、その対応方法を学習しました。

多くの研修医から「シミュレーションとはいっても、緊張する」、「シミュレーションは絶対に臨床で役立ちます」、「今後も定期的で開催して欲しい」、「同僚、後輩に受講を強く勧めます」といった意見を多数頂きました。

今後、研修医向けコースを定期的で開催していくかは検討中ではありますが、上記の意見を踏まえたと、定期開催は必要となってくるのではと考えます。

研修医は患者、指導医、他の医療従事者から多くの事を学びながら医師として成長をしていくものですが、今回の講習を終えよりシミュレーション教育を積極的に導入して、研修医教育の更なる充実を図りたい所存であります。

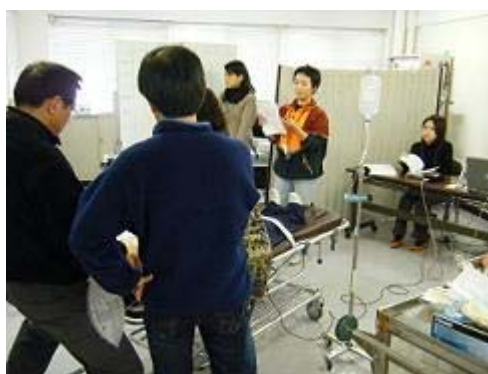
国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



### 3) 【第1回AHA JRC-ITC 主催AHA ACLS ヘルスケアプロバイダーコースが開催されました】

2008年2月26日～27日、当センターにて第1回AHA ACLS コースが行われ、医師2名と看護師3名のミニコースでの開催となりました。ACLSは薬剤投与、鑑別診断などのアルゴリズムが必要になり、かなり難易度が高いコースですが皆無事にコースを合格することができました。また、本コースにてACLSインストラクターモニターを3名が受講し、見事モニターをパスすることができ、新たに3名のACLSインストラクターが誕生しました。今後はBLSと同様に定期開催ができるよう、準備を進めて参ります。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



#### 4) 【2008年 KYT・RCA 研修会が開催されました】

2008年 KYT（危険予知トレーニング）、RCA（メディカルセーフター）研修が2月4日60名の受講者を迎え実施されました。

KYT を武蔵野赤十字病院の杉山良子先生、RCA をテプコシステムズの田島英明先生により、講義とグループワークによる演習形式で行なわれました。

残念ながら、完全にはなくすことのできないヒューマンエラーを、少しでも減らすための取り組みのひとつに、KYT と RCA があります。事故がどのように起こったのか、なぜ生じたのかを分析しなければなりません。再発防止の観点からシステムに潜む問題を探る必要があります。それが RCA です。そして日常の医療現場に、気が付かれず存在している危険を、気付くための訓練が KYT です。日頃行なっているはずのことを、改めて、理論立ててもう一度、見直す事ができた研修会でした。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 5) 【第4回人工呼吸器トラブルシューティング講習会が開催されました】

1月18日にラボセンターにおきまして人工呼吸器トラブルシューティング講習会が開催されました。募集定員18名のところ、30名を越す受講希望者となり、受講をお断りした皆様方には改めてお詫び致します。

受講終了時に行いましたアンケートからは「大変勉強になった」、「シミュレーションは体で覚えられ、即臨床で役立ちそうです」、「有意義な講習でした」等、非常に好評を得られることが出来ました。

これからも定期的にコースを開催していく予定でありますので、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 6) 【腹部超音波シミュレーター研修が開催されました】

虎の門病院消化器外科渡邊部長の指導で「腹部超音波シミュレーター研修」が開催され、虎の門病院より外科研修医4名の方々が研修を受けました。

今回は腹部超音波シミュレーターの基礎モジュールを使用し、「基礎解剖」、「走査方法」、「病態の画像抽出方法」などを学習しました。

皆、シミュレーターの精巧さに驚きを感じると同時に、渡邊部長によるマン・ツー・マンの指導を受け、超音波検査の知識と技術を習得する事ができたようです。

今後も渡邊部長をはじめとする虎の門病院消化器外科医局との協力を行いながら、研修カリキュラムの構築に努めて参りたい所存であります。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 7) 【第2回AHA BLS HCP コースが開催されました】

12月23日に第2回JRC-ITC主催のAHA BLS HCPコースが開催され、午前コース・午後コースとも8名の受講生が参加致しました。

受講生の内訳は医師、研修医、看護師、コメディカルと多職種にわたり、皆突然の心肺停止患者を目の前にした場合の1次救急処置を身に付けて、コースを終了することが出来ました。

なお、このコースにて新たに3人のAHAインストラクター、ならびに2人リードインストラクターが誕生いたしました。

よって、来年からはより多くのコース開催を実現できると思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



#### 8) 【第2回共済医学会 ICLS 講習会が開催されました】

10月17日名古屋における共済医学会において日本救急医学会認定コースがディレクター呉共済病院石川雅巳医師により講習会が実施されました。学会期間中でもあり多くの方が見学に来られました。次回横浜での共済医学会でも同様の講習会を行なう予定です。是非多くの参加をお待ちしております。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 9) 【バーチャルシミュレーションルーム使用のシナリオトレーニングが開始されました】

本年4月に開設されたバーチャルシミュレーションルーム（急患室、病室、ICU、透析室等に模することができる室）を使用し、研修医に対し急患室におけるアナフィラキシーショック患者対応研修、臨床工学士に対し透析中の血行動態変化に対する研修、看護師に対し病室における急変時対応の研修をそれぞれシナリオに基づいて6月より始めました。シナリオの作成からインストラクションの方法まで多くの方の協力を得ながら積み上げ実施することができました。実施時の受講者の反応は良好で現場で直ちに役立つ事例も報告されております。

研修の効果については今後明らかにされることと思われませんが、現在のところ、虎の門病院の職員に限られており今後広く受講を受け入れる予定です。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元

### ●患者急変対応コース for Nurses



### ●血液浄化療法シミュレーション・トレーニング





## 1 0) 【AHA BLS HCP コースが開催されました】

2007年8月25日にJRC-ITC主催のBLS HCPコースが開催されました。午前コースには7名、午後コースには6名の受講者が参加し1次救急の大切さを皆実感し、無事に1日2コースを終了する事ができました。

今後は定期的に当センターにてAHA BLS HCPコースを開催できるように準備を進めていきたい所存であります。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 1 1) 【第2回共済医学会 医療安全管理者研修が実施されました】

共済医学会第二回医療安全管理者研修が6月25日(月)より29日(金)にかけて、川崎市青少年の家で実施されました。内容は昨年同様、組織的取組、制度、セーフティマネジメント、事故分析、事故時事故後対策について各界の講師による講義と実習、グループ討議が行われました。初日は連合会本部の安全に対する取り組み、厚生労働省の対策と日本医療機能評価機構による大きな国の枠組みについて話が述べられました。医療倫理では患者の自立と医療者の自律について、安全管理体制のあり方では日本の医療安全疫学を掘り起こしていただき、医療安全推進に総合的な対策を立てるための具体的なお話をいただきました。午後からはセーフティマネージャーのやるべき事につき、総論と6つの具体的な課題をグループ討議していただきました。2日目は、主に医療と司法をテーマに、医療事故が刑事事件として扱われることについての実情と問題点、患者さん側の弁護士の立場から見た医療事故、医事紛争全体の俯瞰、法廷外紛争処理、医療事故防止センターの取り組みについてお話いただきました。さらに、病院における医療倫理、リスクコミュニケーションについて講演していただきました。3日目は事故原因の分析において、事故はシステムエラーによって生じるという基本的考え方の必要性が強調され、事例分析実習を行っていただきました。4日目は、医療を正当なものとする手続きとしてのインフォームド・コンセン

トの実際とその確認法につきグループごとの討論により内容を深めていただきました。午後からは患者確認、薬剤管理、ME 機器アラーム対応を、グループ討議していただきました。最終日にはクリティカルマネジメントとして医療関連死の届出制度、現場保全・警察対応、異状死体届出、補償についてお話いただきました。午後には事故後対策の家族対応・当事者対応・警察対応・公表などにつき講義していただき、最後に質・安全管理の拠点としてシミュレーション・ラボセンターの意義につき講義を行った後、修了式を行い、5日間の研修を終えました。期間中の意見交換やアンケートにより多くのご意見をいただきましたが、今後のケースごとの短期研修への参加や、来年同様の研修を行った場合、自院からの参加の可能性も多く寄せられました。安全管理は終わらない作業です。より多くの医療者が現実を明確に理解し個々の病院の状況に応じた対応ができるようになっていく必要があると感じた一週間でした。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



## 1 2) 【第1回日米シミュレーション医学教育合同シンポジウム・ワークショップ参加】

6月27日～30日に第1回日米シミュレーション医学教育合同シンポジウムが国立国際医療センター、東京ドームホテル、テルモプラネックスで開催され、当ラボセンターからも、学術委員、教材作製員、シンポジスト、プレゼンター、ワークショップインストラクターとして参加いたしました。

ました。

6月27日には、米国参加者による当ラボセンターの見学があり、ラボの設立の経緯、コンセプト、施設、スタッフ、研修内容、実績、今後の計画などにつき話し合いを持ちました。現在米国で一二の実績を持つピッツバーグ大学のシミュレーションラボセンター(ワイザー)の責任者であるフランプス博士とハワイ大学シミュレーションラボセンター(シムチキ)の責任者バーガス博士、ベルグ博士などから当ラボセンターを高く評価していただきました。一般病院において、質・安全管理の拠点としてシミュレーションラボセンターを置き、臨床から上がってきた問題点をシミュレーションして教育していること、及び専任のラボマネージャーをおいていること、ラボをインストラクター、受講者共に外に開いていることなどが特に評価されました。その後、2日間のシンポジウムでは21世紀の医学教育のあり方とシミュレーション医学教育で新しい医療安全文化を築くことを目標にシミュレーション医学教育の標準化とインストラクターの養成をいかに行うかなどが討議されました。シミュレーションラボセンターのモデルや医療教育を支えるサイエンス、わが国のシミュレーションセンターからのレポートなどのプレゼンテーションも行われました。後半の2日間ではシミュレーションセンターディレクターコース、インストラクターコース、患者急変対応コースなどいくつかのワークショップが開かれ多くの参加者がコースを体験しました。私たちのシミュレーションラボは質・安全管理の拠点として設立されておりその方向性が間違っていなかったことが改めて確信出来たいい機会でありました。欧米に比べるとまだまだ遅れてはおりますが、益々努力していくことが必要であると痛感させられた4日間でした。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



### 1 3) 【シミュレーション教育シンポジウムが開催されました】

4月20日シミュレーション教育の現状と今後の課題について長谷川敏彦先生を座長にこの分野の第一人者によるシンポジウムが開催されました。日本ではシミュレーション教育に関する認識と期待が高まってきており、50名程の参加者を得て、有意義な討論がなされました。京都大学の平出先生からは大学での現状と今後のラボを発展させて行くためには内容の充実が必要であり、教育者(指導者)の手当てをどうするかなど現実的な問題を考える必要があると述べられました。自治医科大学の長谷川先生からは現在準備中のシミュレーションセンターとピックセンターの話がなされ、シミュレーター教育のみならず動物(生きているもの)による教育の必要性が述べられました。池上先生からは今後の医学教育にメディカルインストラクターシステムの必要性が述べられました。これは学習者に何らかの行動の変化を引き出すことを目的としたものです。いずれにしても、シミュレーション教育の必要性は益々増すであろう事は一致しており、今後の取り組みにかかっているということが改めて認識された会でした。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元



#### 14) 【2007年新人研修医研修が行われました】

2007年新人研修医研修が行われました。当ラボセンターも開設2年目に入り、最初の定期研修となる新人研修医研修が4月6、7日の2日間コースで実施されました。昨年に引き続き研修医が病棟配属と同時に直面する基礎的手技とチームワークで行う救急蘇生のごく基本を6病院42名の受講者と46名の指導者により行われました。BLS、縫合、動静脈採血、血管確保、CVカテーテル挿入、挿管、腰椎穿刺を1日目に、救急医学会認定ICLS講習(コースディレクター池上敬一教授)を2日目に行いました。1日目の夜には共済病院研修医間の親交を深めるために懇親会を行いました。桜の花が散り、ヒポクラテスの木の芽が出始めた気持ちの良いキャンパスで有意義な研修ができたと思っております。来年はより多くの病院の研修医が参加できるよう工夫を重ねていきたいと考えております。

国家公務員共済組合連合会  
シミュレーション・ラボセンター長  
虎の門病院 医療安全アドバイザー  
中西 成元

